



中野中学校だより

第 2 号
令和4年7月 7日
校長 戸川 忠諭

○「長崎っ子の心を見つめる 教育週間」を行っています！

平成 16 年からスタートしました、この教育週間も、今年で 19 年目を迎えることとなりました。

「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成」を目指し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めつつ、長崎県下全域でこれまで進められてきました。

さて、そのきっかけをご存じでしょうか？平成 15 年 7 月 1 日に長崎市で発生した、「長崎男児誘拐殺人事件」が発端になります。当時 4 歳の男児が、男子中学生に殺害されるという、信じがたい、痛ましい事件でした。

「どうして…」と誰もが思ったことと思います。私もそのニュースに言葉を失いました。しかしその後も、信じられないことに、小学生同士や高校生同士が加害者、被害者となる事件が発生してしまいました。

4 日（月）の朝、全校集会の中で、この教育週間についての校長からの話として、これらのことにもふれ、子どもたちに次のような話をしました。

- ・命を失う（なくしてしまう）ということは、自分自身が一番つらく悲しいこと。
- ・家族もとてもとても悲しく思うこと。自分以上かもしれないということ。
- ・世界には今も戦争が行われている場所が複数あるということ。飢えのために亡くなっていく人たちがいるということ。

そして、最後にこの教育週間中は特に、

①命について、よくよく考える時間をもってほしいということ。

②自分の命を大切にして、生きていてほしいということ。

を伝えています。

教育週間中の様々な学習を通して、命（自分）を大切にす
る心、思いやりの心
をはぐくみたいと考えています。



※教育週間には次のような学習・行事を行っています。

- 7月4日（月）校長講話
- 5日（火）AED 講習会
- 6日（水）メディア依存防止講習会
- 7日（木）薬物乱用防止教室（2年のみ）
- 8日（金）道徳公開授業
学級懇談会

○校訓：「自律 創造 敬愛」



昭和 59 年、当時の高橋達也校長先生が書かれた文字を基に、生徒玄関前に石碑が建てられています。この「校訓」

のそれぞれの言葉を使わせていただき、今学期、いくつか話をしてきました。

「自律」：市中総体球技・武道大会前に、自分の気まま・わがままを抑え、自分を律して、諦めることなくプレーするよ
うにということ。

「創造」：生徒総会の際に、自分の意見を述べ、組織の大事なことを決めていってほしい。新しいことを生み出してほしい
ということ。

「敬愛」：始業式・入学式の際に、まわりの人を敬う心、優しさ、思いやりをもって接することを大切にしてほしい
ということ。

☆今後さらに、**学校教育目標**である

「求めて学び、
心身ともに
しなやかで
たくましい
生徒の育成」

に向け、各授業、
諸活動に取り組
んでまいります。



